

大槌町有線テレビジョンの状況等について

1. 施設整備までの経過等

町内の難視聴地域にはもともと共聴施設が 13 ヶ所あり、各々の組合で施設や設備等の管理を行っておりました。

その後、難視聴地域の解消と地上デジタル放送への切り替えに対応するため、平成 21 年度から「地域情報通信基盤整備推進事業」として、町が共聴組合から有線テレビへ切り替えるための整備を進めておりましたが、供用開始の目前で、東日本大震災津波により関連施設が流失し甚大な被害を受けました。

その後、復旧工事を進め、平成 25 年 10 月から議会中継を開始し、最終的にすべての復旧工事が完了したのが令和 2 年度になります。

2. 大槌町有線テレビジョンの最新の加入世帯数（令和 4 年 11 月末現在）

（1）大槌町全体の世帯数

5,288 世帯

（2）加入世帯数（有線テレビに加入しなければテレビが視聴できない世帯）

1,442 世帯 27.3%

（3）非加入世帯（自宅にアンテナを設置することでテレビが視聴できるため、有線テレビが整備されていない地域に共住している世帯）

3,846 世帯 72.7%

※ただし、浪板地区の一部で電波が弱いエリアがあり、その地域は町内で唯一「浪板テレビ共同受信施設組合」により運営されています。

※有線テレビを全町化した場合、過去のシミュレーションでは約 10 億円規模の費用が必要となる試算です。

3. 大槌町有線テレビジョンの収支状況について（令和 3 年度）

大槌町有線テレビジョンは大槌町一般会計の中で運営されており、令和 3 年度の大槌町有線テレビジョンに係る収支を見ると 430 万円ほどの赤字です。

収入： 17,899,867 円（施設使用料 500 円/月、新規加入費等）

支出： 22,222,069 円（施設保守・修繕委託費用、光ケーブル電柱使用料等）

4. 既存設備の更新時期等について

放送局設備や蓄電池等については、設備設置後約 10 年が更新期限となり、来年度から設備の更新に着手する必要があります。

また、伝送路設備である光ファイバケーブルについても、15年から20年で設備の更新が必要となります。

5. 令和4年度の放送状況

現在、議会の開会期間中に放送している大槌町議会中継の他、下記の1から7までのコンテンツ（町からのお知らせ）を放送しています。

【町独自放送コンテンツ一覧】

No	放送タイトル	放送期間	担当課室
1	びんころ体操	R2. 4. 17～	健康福祉課
2	FMラジオの聴き方	H27. 4. 17～	総務課
3	平成28年度大槌学園	H28. 12. 1～	学務課
4	マイナンバーお知らせ	H27. 10. 2～	総務課
5	マイナポイントCM	R4. 1. 11～	総務課
6	岩手大槌サーモンPR映像 大槌ジビエソーシャルプロジェクト	R4. 2. 7～	産業振興課
7	大槌町協働地域づくり推進指針	R3. 10. 1～	協働地域づくり推進課
8	大槌高校卒業制作「私の大槌（ハンマー）」	R4. 5. 23～ R4. 6. 20	学務課

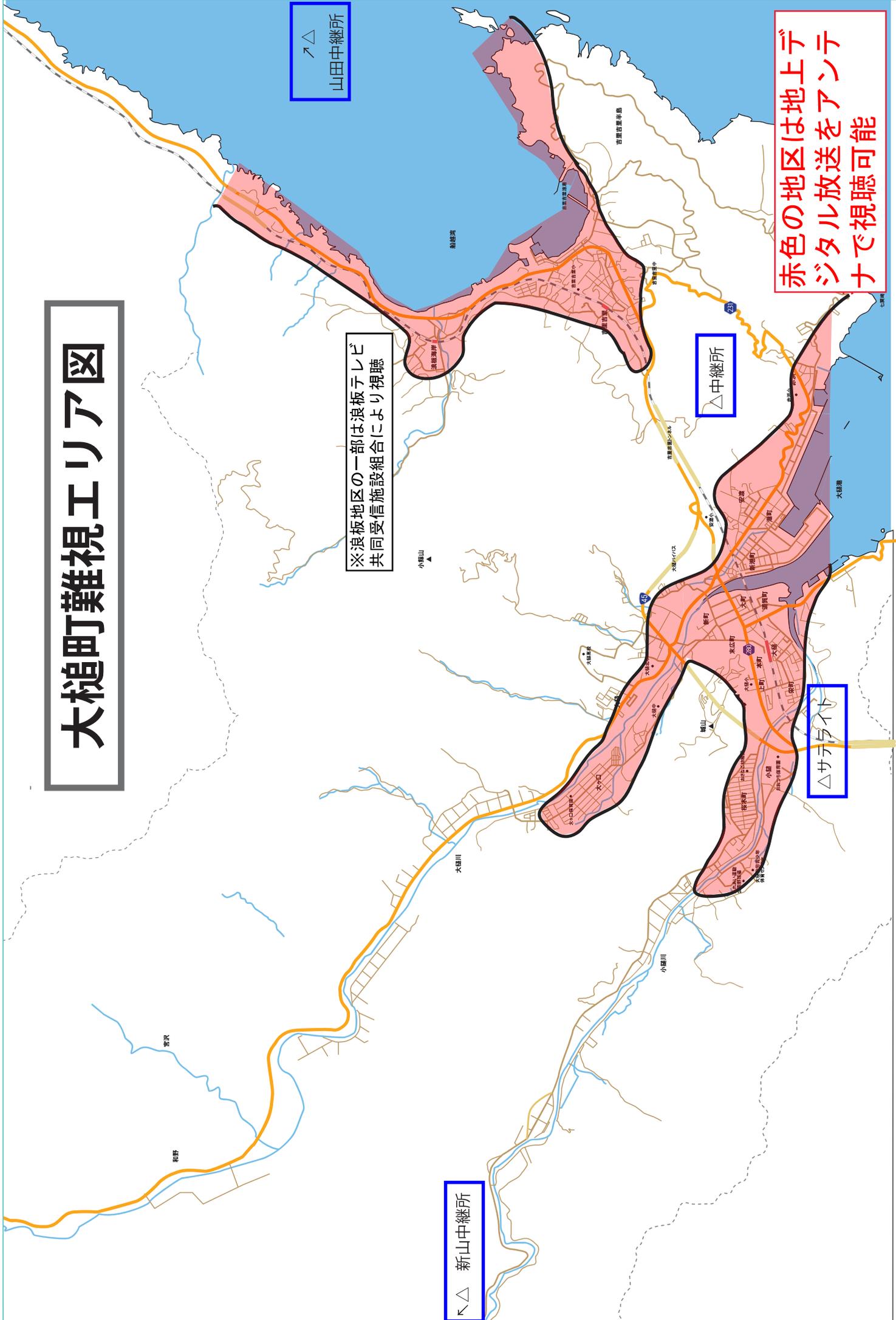
※8の放送は終了しています。

6. 令和5年度以降の取り組み

復旧・復興ハード事業の完了に伴い、ソフト面の充実へと施策を移行していく中、有線テレビについても、上記の「町からのお知らせ」以外に、来年度以降は、放送コンテンツを一般から募集することや、事業所・企業等から有料広告を募集すること等について、具体的な検討を進めてまいりたいと考えています。

ただし、有線テレビに加入している世帯（3割弱）と非加入世帯（7割強）とで情報格差が生じないように検討する必要があります。

大槌町難視エリア図



△ 山田中継所

※浪板地区の一部は浪板テレビ
共同受信施設組合により視聴

△中継所

赤色の地区は地上デジタル放送をアンテナで視聴可能

△ 新山中継所

△サテライト